

## JIA 関東甲信越支部長活動報告

2013年10月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

「新国立競技場を含む東京オリンピック・パラリンピック施設への“建築アドバイス機構”の必要性について」の要望書を11月11日午後に東京都知事本局へ届けました。それに先立つ午前には、5会要望書（建築士会連合会、東京建築士会、建築士事務所協会連合会、東京都事務所協会、日本建築家協会）を文部科学大臣、東京都知事、日本スポーツ振興センター宛てにJIAが幹事役として届けました。5会要望書については会見の場を設けませんでした。支部要望書について11日夕刻に、芦原会長にも出席頂き記者会見を行いました。日経、毎日、読売といった一般紙の参加もあり、手ごたえのある記者会見でした。これらの活動が今後のまちづくりにおいてターニングポイントになればと期待します。

本部委員会並びに支部委員会再編による活動の活性化を進めています。9月の支部役員会で支部に、4委員会1部会の設立を決議しました。（環境委員会は環境ラボと調整中で委員長は未定です。）今回の組織再編において大事なことは以下の通りです。

1. JIAは全国単一組織である。
2. 本部は会の維持管理、外交、会員サービスの充実を主たる活動とする。
3. 定款第4条の事業活動はJIA会員全体（支部、地域会）で担う。
4. 活動においては本部、支部、地域会の境界は無く、全てJIA事業である。
5. 支部、地域会活動の連携を取る全国会議は、等しくJIA（理事会）のミッションで活動する。

### 支部長活動報告

- 1日 相談委員会と全国相談室連絡会議の会議に同席する。全国相談室連絡会議議長が対外的に出した報告書について内外から異論が出ており、経緯の確認と今後の対応などについて議論される。東京三会建築会議が開催される。11月15日に予定されている第2回東京建築三会行政懇談会について事前に東京都に出す議題を決定する。
- 3日 先月設立された災害対策委員会の中山委員長と本部災害対策委員会とで今後の進め方を協議する。本部委員会から提案があり、今年度中に今ま

- で本部委員会が行ってきたようなセミナーを支部主催で開催し、本部委員会は積極的に支援する。具体的なミッションが見えることで支部活動がより速く軌道に乗るだろう。
- 4日 支部総務委員会が開催される。ブリテン1月号、来年の新春の集いについて内容を固める。
- 11日 今日は全国支部長会議を新潟にて開催する。新国立競技場のシンポジウムが今日開催されることが8月下旬に聞こえてきたが、多くの人の手を煩わせて調整を行い、全てのプログラムが決まった後だったので、支部長会議を優先した。支部毎の報告を急いで行い、現在の課題である委員会再編、会長選出制度などを議論した。翌12日は新潟地域会でアレンジしていただいたエクスカッションプログラムを全国支部長諸兄と共に楽しんだ。2日間に渡るプログラムの準備のためご尽力いただいた新潟地域会の皆様へ、全国の支部長を代表して深く御礼申し上げたい。
- 17日 第215回理事会、理事懇談会が開催される。退会希望者をシニア会員へ勧めたため、退会者数は比較的少ない。3月より続いた本部三会による建築士事務所業務、他に関する協議について合意内容が報告される。災害コーディネーター研究会、建築・まちづくり委員会、より報告がある。委員会再編、次期会長候補者の選定制度について、建築士の行政処分について報告、協議する。
- 18日 法人協力会員が最も楽しみにしている正会員との交流の場、フレンズカップに参加する。今まで5回参加しているが、毎年素晴らしい天気が続いている。今年の参加者は70名弱で、盛会な催しとなった。正会員にもう少し参加いただけると更に盛り上がる事だろう。
- 23日 巨大台風が日本に近づいているため25日の地域サミットの延期を決める。今までの「日本版CABE推進タスクフォース」が衣替えた第1回建築・まちづくり委員会が開催される。建築学会の高見澤邦郎先生に来ていただき、まちづくりの事例を挙げながら講演をしていただく。景観条例から景観法ができて、地域によってはうまく機能しているが、問題は公共施設が野放しなことだ。オリンピック施設について“建築アドバイス機構”の設立を要望するする要望書について議論する。
- 24日 本部総務委員会が開催される。選挙規程の改正について、選挙制度の見直しについて、必ずしも全支部にない苦情対応委員会の整備について、協議する。本部再生部会と協議する。部会の成り立ち、現在の立ち位置、対外的な効果などの説明をしてもらい、今後の進め方を協議する。
- 30日 本部国際交流委員会が開催される。今までの多くの委員は支部国際事業委員会で活動することを岩村委員長が説明。本部国際交流委員会はより戦略的な外交に特化し、具体的な活動はなるべく支部にて行う。East East

IV実行委員会（リトアニア建築祭）が開催される。リトアニアにて団長を務めた千葉学氏、学生担当の原田真宏氏が現地での様子を報告する。日本からの参加者、現地での参加者共に大変満足した大成功のイベントであった。展示はラトビア、エストニアに巡回されることになった。打ち上げを行う予定だったが建築家会館で月例会が開催されていたため、それに参加する。

- 31日 東京三会建築会議が開催される。東京都との懇談会について役割分担などを確認する。JIAは他会から「新国立競技場を含む東京オリンピック・パラリンピック施設への“建築アドバイス機構”の必要性について」の要望書並びに建築士処分対応についての提案書を示し、意見をもらう。



要望書提出・記者会見/JIA館1階建築家クラブにて 2013.11.11

(写真・左/右から JIA・芦原会長、関東甲信越支部・上浪支部長、建築まちづくり委員会・連委員長)

支部長活動報告 2013年10月  
2013年11月11日作成 上浪 寛